

ほけんだより

令和2年6月8日



ウイルスに負けない生活の仕方をかんがえよう！ 秋吉小学校保健室



日本でコロナウイルスに感染する人は、今でもときどきいます。感染しても症状がなく、わかりにくいことも多いようです。みんなで「新しい生活様式」をこころがけ、感染の危険をへらしていきましょう。

☆ 新しい生活様式の例の紹介



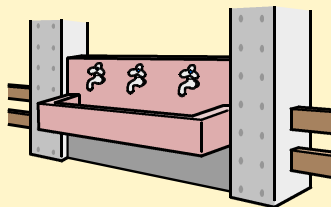
- 人との間は、できるだけ2m（最低1m）あける。あそぶなら、外をえらぶ。
- 話しをするときは、真正面をさける。近くで話しをするときは、マスクをつける。（食事のときなども、おしゃべりをひかえ、横ならびですわる。）
- 何かにさわったら、手を洗う。（石けんを使って、30秒くらい）



今からの季節は、熱中症も心配になります。あそぶとき、運動するとき、マスクをはずしたら、人との間をあけるようにしましょう。マスクをおいておく、ビニル袋などがあると、より安心です。手洗いの回数も多くなるかと思えます。ハンカチを毎日とりかえて、もってきてください。（ハンカチの貸し借りはやめましょう。）

☆ だまって行動した方がよいのは、どんなところかかんがえよう。

- 手洗い場：歯みがきのあと、マスクをつけずに水を捨てることがあるから。



- 玄関やランチルーム：すべての学年の多くの人が、出入りしているから。（あつくなると、マスクをせずに校舎の中に入ってくることもあるかもしれません。）



- 順番をまっているときなどトイレの前や中では、何人も人がまわっているときがあるから。



このほかの場面でも、どうしたらよいか、かんがえながら生活していきましょう。